

雑がみリサイクル

もやすごみに入れないで



○雑がみってなに？

雑がみは、新聞、雑誌、ダンボール、牛乳パック以外のリサイクルできる紙類のことです。きちんと分別すれば、資源となります。

※例えば…

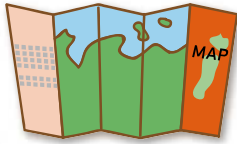


紙袋



封筒・はがき

※窓あき封筒の窓部分（プラ製）は取り除く。



パンフレット

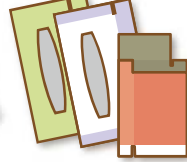


トイレ用ペーパーの芯



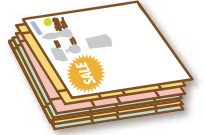
カレンダー

※金具やプラスチックは取り除く。



お菓子の箱・ティッシュ箱

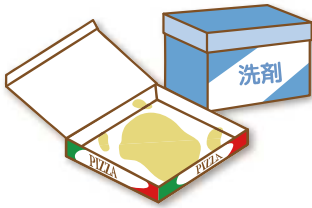
※ビニール部分は取り除く。



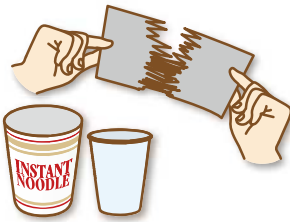
チラシ

○雑がみとして出せないもの ➡ 指定ごみ袋に入れて「もやすごみ」へ

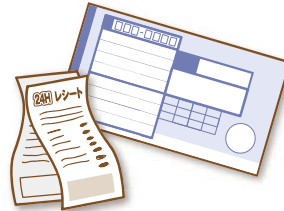
※例えば…



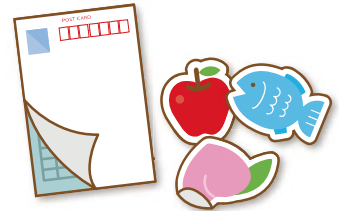
においや汚れのついたもの



ビニール・防水加工されているもの



特殊な加工がされているもの



粘着物のついたもの

○どうやって集めたらいいの？



紙袋に入れる



縛る



雑誌にはさんで縛る

雑がみは、雑誌と同じ区分で出すことができます。

古紙の出し方は、13・14ページへ

生ごみ分別収集

生ごみの出し方は、7ページへ

「生ごみ」と「もやすごみ」は同日収集ですが、ごみステーションでは分けて置いてください。

○なぜ「生ごみ分別」するのか？

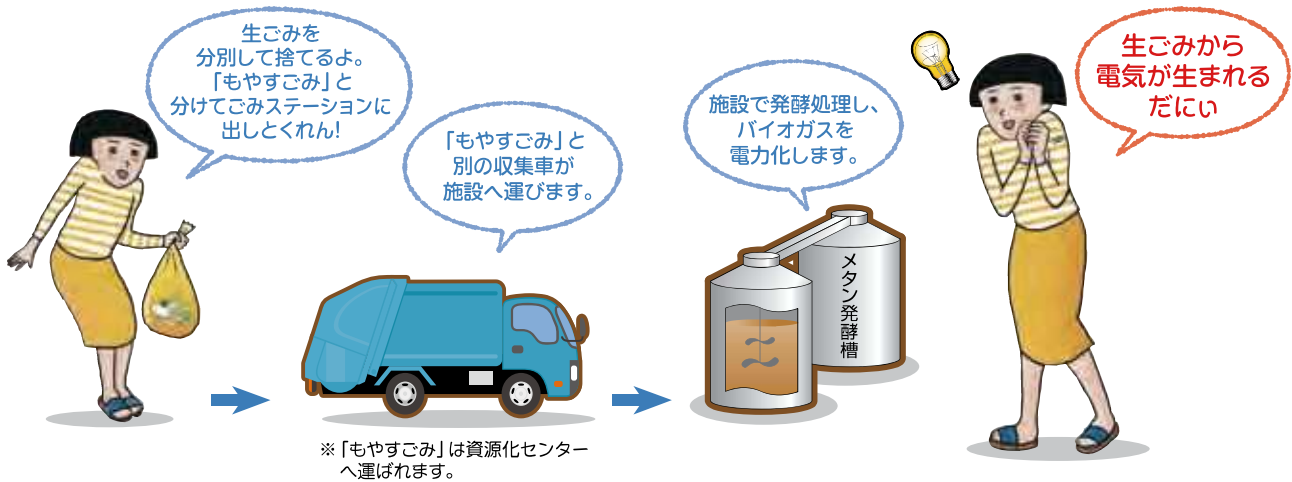
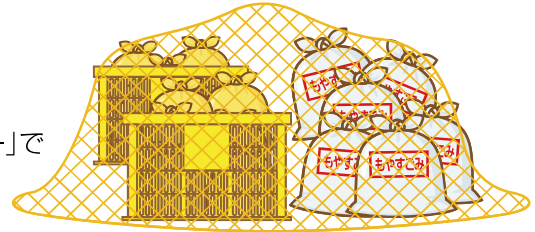
「生ごみ」を資源としてリサイクルするためです。

○資源として集めたあとはどうするのか？

下水汚泥やし尿・浄化槽汚泥と一緒に「バイオマス利活用センター」でメタン発酵処理をします。

○メタン発酵処理するとどうなるのか？

バイオガスが発生します。このバイオガスを利用して発電をします。一般家庭約1,890世帯分の電気が生まれます。



分別にご協力ください

以下の写真は、実際に『生ごみ』として出されたものです。バイオマス利活用センターの故障につながりますので、正しい分別を心がけてください。



アルミ缶
→「びん・カン」へ



お弁当の容器
→「プラマークごみ」へ
※汚れがとれないものは「もやすごみ」へ。



紙コップ・ティッシュ・割りばし
→「もやすごみ」へ
新聞紙
→「古紙」へ